



農業センサス
昭和60年2月1日

農林水産省

農林水産省では、二月一日現在で我が国のすべての農業事業を対象として、農業センサスを実施します。昭和二十五年以降五年ごとに実施しているこの調査は、農家数、耕地面積、農業経営の概況など農業の現状を明らかにし、農業施策の推進に活用されます。本村の調査員は次のみなさんです。ご協力をお願いします。

ご協力ください
1985年
農業センサス

調査区	調査員
大別当全域	斉藤 作一
月 潟 上	登石 新市
月 潟 下	田中 善弥
西 萱 場 上	佐藤 邦夫
西 萱 場 下	佐藤 誠一
上 曲 通 上	栄森 健治
上 曲 通 下	原 甚三
下 曲 通 全域	藤村 和明
東 長 島 全域	野内 作一
木 滑 上	石塚 徳夫
木 滑 下	大橋 良夫
釣 寄 全 域	曾山 康雄
釣 寄 新 全 域	井沢 義明



募金を手渡す
小学生の代表

昨年十月から年末まで実施いたしました共同募金は、皆様の暖かいご協力により、月潟村の目標額を上回ることができ、無事終了いたしました。募金の集計がまとまりましたのでご報告いたします。

○目標額 四〇九、二〇〇円
○募金額 四三九、九六一円

内 訳

大別当 五〇、七〇〇円
月 潟 一七二、七〇〇円

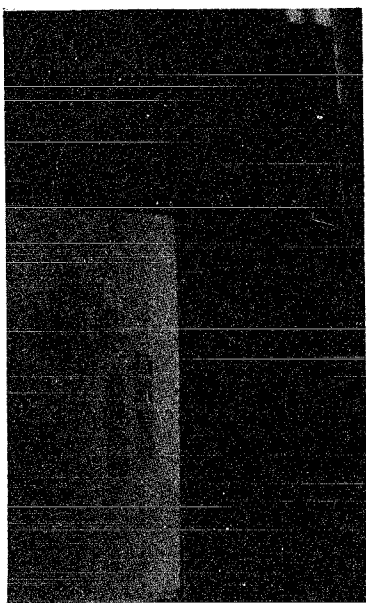
目標額を達成

昭和59年度共同募金

西 萱 場	四〇、二〇〇円
曲 通	六一、三〇〇円
東 長 島	二一、一〇〇円
木 滑	三五、六〇〇円
釣 寄	二〇、〇〇〇円
釣 寄 新	七、五〇〇円
小学校	一五、六五四円

めずらしい中国からの年賀状

新年を祝う年賀状、日本では印刷したもの、こまかく手書きしたものいろいろありますが、本村の藤村義一さんへ中国の友人から写真のような年賀状が届きました。



中国語、英語、日本語ではいさつが書かれており躍進中国の心いきがったわる感じですが、本人の了承を得ましたので御紹介いたします。

"あとで"より"いま"が大切
火の用心 火の始末



年末より降りつづいた雪は近來まれにみる豪雪となり、雪の始末にお困りのこととは思いますが、月潟東部用水路、五ヶ江甲線用水路、西側用水路は、大切な防火用水となっ

用水路には
雪を捨てないで!!

ていまずので、各家庭で排雪した雪は、用水路に捨てないでください。

また、消火栓、防火水槽、道路と用水路までの間が雪に埋もれていたら消防団員に連

絡のうえ、ところどころ取水口を設けて、非常の際の消火活動が円滑に行われるようにご協力をお願いします。

万一、不幸にして火災が発生しますと、村民からの問い合わせ電話が相次ぎ、役場の電話が大混乱します。そのため、消防署や消防団との連絡に不便をきたし、火災現場への出勤が遅れる原因にもなりかねません。

非常時の電話は、役場と消防団、消防署との唯一の連絡網です。

火災の際、役場へ火災現場の問い合わせ電話は、かけないようにお願いします。

豪雪のため、水利、道路の状態が非常に悪くなっています。火の取り扱いは、くれぐれも用心してください。

また、プロパンガスを使用している家庭は、メーター、配管、容器等が雪に埋まっていなしか点検し、ガスもれ等の事故の未然防止を図ってください。

歳時記

獅子舞い



がらりと玄關の戸があいて「おめでどうございます」と威勢のいい声とともに獅子舞いが現れると、子供たちはあわてて奥にひっこみます。

お正月にこんな風景が見られたのも昔の話。赤い顔に金歯をキラキラさせた獅子頭、そして体には緑に白の唐草模様の布をかぶった獅子舞いが、万歳などとともに、家々を門付けして回ったものです。

獅子は、厄ばらい、家内安全を祈って踊ります。特に子供は、獅子の口で頭を噛んで

もらうと健康に育つといわれていたので、獅子は子供を見ると口をバクバクさせます。それが怖くて、子供たちは逃げまどいました。

また、この獅子は火災を防ぐ、いわゆる火伏せの御利益もあるといわれていたようです。

ところで、正月は伝統的な行事を振り返るいい機会です。また、文化財についても関心を持ちたいもの。一月二十日は文化財防火デーです。

昭和二十四年のこの日、世界最古の木造建築である法隆寺金堂の壁画が焼失しました。それをきっかけに昭和三十年に文化財保護法ができ、二度と文化財を「火」で失わないよう、一月二十六日を文化財防火デーとしたのです。わたしたちも、身近な文化財を大切にしたいものです。